

ロータリーを楽しみましょう

ロータリーのバッチをいつも襟に

私が外出する時は、ほぼジャケットを着用します。そして襟には必ずロータリーの徽章（バッチ）をつけています。それは、ロータリアンであることに誇りを感じているからです。ロータリーのバッチをつけていれば、何処へ行っても、誰が見ても、私がロータリアンであることは一目瞭然です。それを見た人がロータリアンであれば、私が友人であることが分かるでしょう。

国際大会に出席するために、前泊で成田のホテルに泊まった時などは、フロントでチェックインの順番を待っている時に、そばにいた人に「Are You Rotarian?」と声を掛けられたこともあります。

サンフランシスコのレストランでは、隣に座った紳士から「Are you Rotarian?」と声を掛けられ、彼の父親が薬剤師でロータリアンである言われました。私が薬剤師であることを伝えると、その後、iPadを使って話になり、彼は「私は薬科大学を作りました」と言うのです。私が、「あなたは薬科大学の創立者ですか」と聞くと、彼のiPadの中に写真を呼び出し、この建物を造ったのが私で、私は建築設計士だと言われ、大笑いになったことが、思い出されます。

しかし、たまに買物をした後、レジで胸につけているのはなんのバッチですか？と、訪ねられるたこともあります。バッチは、ロータリアン以外の人の目にも留まります。それらの人たちみんなに、このバッチの意味を理解して欲しいと思っています。

2012-13年度R1会長の田中作次氏も「ロータリーの友」に同じように述べて居られます。

「私は皆さんがロータリーのバッチを付け、その意味の認識を広めてくださるようお願いしています。バッチを着ければ心構えが変わる、と私は信じています。言葉を選び、行動に気を配るようになるでしょ

う。そして何よりも、世の中のためのロータリアンであるという自覚を持つようになるでしょう。私たちは常に、ロータリーについて人びとに伝える用意をしておくべきです。誰かにロータリーのバッチのことを尋ねられたら、すぐに答えられるようにしておきましょう。」と。

新しく入会された方も、会員として長く居られる方も、「ロータリーとは何か？」と自問自答してみてください。ロータリーとは何ですか？ロータリーは何をする団体ですか？このような質問に対して、私たち一人ひとりが明確に答えられる心構えをしておくことが大切です。

また、会員候補者のところに行き、入会するように頼むだけではいけません。私たちはその人に、ロータリーが本当に素晴らしい団体であり、ロータリークラブに入ることにより幸せになれることを伝えなければなりません。

私は、私がロータリーに入ることを進めてくれた方々に感謝しています。私自身も、ロータリーのおかげで、人生がより楽しく、実り多いものとなりました。

湯上ロータリークラブの前身である昭和飯田川ロータリークラブに入会した日が、私の人生においてそれまでとは異なった方向に進む日となったことは間違いがありません。

私が、薬剤師と言う資格者の集まりである薬剤師会の中で、医薬分業を進め、市民の健康に寄与する仕事であり、医療の一角を担う仕事は誇れるものではありませんが、それは、ごく限られた空間であったのです。

ロータリーに参加したことにより、人のつながりがさらに広がり、より満足が得られ、充足感と奉仕に対する意識を求めようになりました。私は、私の襟に付いたバッチを誇らしく思います。

(地葉新司 2540地区 PDG 湯上RC)